

子ども生活学部の教育方針・目的

宇都宮共和大学子ども生活学部は、「須賀学園の建学の精神」及び「大学の教育目的」を踏まえて、「学部の教育目標」等を次の通り定めている。

1. 子ども生活学部の教育目標

「子ども生活学部子ども生活学科」は、子どもの心身の発達と子どもの生活について、子どもが育つ家族や家庭生活、地域の自然環境、社会環境とのかかわりを、総合的、体系的にとらえて、研究や教育、実践活動を行う学部である。家庭や幼稚園、保育所、地域社会など、子どもが育つ領域で、子どもの立場に立って、子どもの健康で豊かな発達を支えることのできる専門的職業人を育成する。

全人教育を目標とする本学は、人間存在への深い知識と理解をもち、すべての人間に対する愛情と尊重の心を持つ人材を育成することを目的としている。とりわけ育ちつつある幼い子どもを大切にし、生活主体としての子どもの生き生きと育つことができるよう、総合的な視野と見識から、子どもを見守り、育てることができる人材の育成をめざしている。

- ① 子どもに対する幅広い関心と知識を持ち、子どもと共に豊かな生活を創る力を育成する。
- ② 子どもの成長・発達に関する理解を深め、教育・保育・福祉の専門的な実践力を育成する。
- ③ 地域における大学の役割を踏まえ、多様な人々との交流を通してコミュニケーション力を培い、地域社会とのネットワークを創る力を育成する。

2. 子ども生活学部で養成する人材

子ども生活学部では、子どもとかかわる専門職としての保育者の専門性を磨くことを基盤とし、その上で学生の得意分野を伸ばし、その分野でのエキスパートとして「豊かな子どもの生活環境の創造、教育、保育に貢献する人材」の養成を目指している。

「豊かな子どもの生活環境の創造、教育、保育に貢献する人材（専門家）を養成する」

- 幼稚園、保育所、認定こども園、児童福祉施設などで保育に携わる専門家として必要な資質と能力を育てる。
- 家族及び家庭生活についての知識と理解を持ち、親や家族、地域の子育てを支援する専門性を育てる。
- 子どもの発達と生活を総合的に理解し、子どもの立場に立った産業や事業に携わる専門家を育てる。
- 子どものための施設や幼稚園、福祉施設の経営・管理・運営ができる能力を育てる。
- 小学校との連携を理解した幼稚園教諭、幼稚園・保育所の実情を理解した小学校教諭、特別支援学校教諭の養成を支援していく。